

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）

・語学学習（英語は必須）のスタートを小学校1年生時に行ってほしい。
・水利権について、部落によっては米をやりたいけれど水利権のトラブルで米作りや農業そのものをあきらめてしまう事もあると聞きます。Uターン移住者を含め農業就労希望者に対する水利権問題を行政指導で行ってほしいです。
・人口増加のために移住者を増やすのは賛成ですが、「部落」という言葉に同和問題を連想するという意見を聞きます。移住者誘致での説明した方がいいような気がします。

こままま手をこまねいていても何も変えられない。かといって、全てを行政に…とは思っていない。ただ、いろんな役目をいただき、関わらせてもらい、会議に出て報告を聞く度に、現状は分かったけど、この先どういった方向にどう進もうとしているのか見えてこない。方向性を決めて、リスクはあってもみんなでやっていくことができれば、コンパクトな町だから、できると思っている。

美しい自然を活かした魅力ある町、自然エネルギーの有効活用、住んでみたいと思えるまちづくり、若い力に期待しています。

・田舎暮らしを求める人々を誘致する
・廃校跡地、伍代（奥野）、一般の廃屋などの活用
・芸術家誘致（画家、陶芸家、竹工芸など）
・薬草茶（椎茸、ゴボウなど）
・発酵食品開発など

私の20年先は、90歳。病院、アミーまで買い物が？現在、まだ仕事をしていますので、買い物はアミーに行けますが、10年先は78歳、今Aコープが来ているようですが、昔の子どもの頃のように週2回くらい移動販売車が来てほしいと思います。現在、家に車がある人は、私たちみたいな思いは、考えたことがないと思います。地区の行事も出来なくなるでしょうね。将来像って難しいですね。

夢は大きく持ってもよいが、3,000年の歴史の中でこんなに豊かな暮らしが出来ると、5年前まで思ったこともなかった皆が殿様暮らし。それでも人間は、不足不平ばかりを言う。コロナの流行も神様のいたずらとしか思えない。このへんで反省して、過去を見ることも大切。みんなおだやかな日暮ができれば、それで良い。みんなが大学を出ても、そんな世の中は通用しない。

リノベーションした空き家を若い世代へとどんどん発信してください。

分からない。

人生100年と言われている時代です。20年先は、そんなに遠い話ではありません。子育て世代への支援、若者の定住促進、シニアへの活躍の場の提供（職場、各グループ）など人々が生き生きと暮らしていけると良いと思います。

2040年問題。最大の問題は、住民の多くが町に自身が持てなくなっているのではないかと。多くの情報を収集し学習することにより課題が見えてくれば対策が考えられる。明日の地域を住みやすく、そして暮らしやすくすると考えられる改善を続けること。住民自らの手で身近な課題を一つひとつ日々改善し乗り越えるごとに、結果として町の持続可能性が見えてくるのだと考える。コロナ禍で見えてきたこと。いわゆる評論家の多い町ではあるが、この総合計画のアンケートのように町民に直接意見を求めることが重要と思う。評論家的になりがちな自戒を込めて。みんなで乗り越えようではないか。ひさしぶりに「町」について、家族で話し合った。

今後、九重町は、人口減少及び高齢化が進む中、現在の人口は、9,000人。町議定数12人、町民1,000人に議員1人で十分では。また、町職員については、筆記試験ありきではなく、専門職、技術職を入れるように。

とても難しい。具体的にこうしていきたいといくつか提案されると是非を含めて議論になると思います。こういう広報に入れて意見を聞くのは、すごく良いアイデア。でも、中身が答えにくい。

希望がないと思ってしまいました。

自助・共助・公助のバランスがむずかしい。地域の維持ができなくなる。まちがない。コンパクトは嫌だけど、ある程度、集約できる場所はすべき。

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）

2万人、1万人いた町の人口が5千人に。大変だとは思いますが、町がなくなる訳ではない。5千人なりの町づくりがあるはず。5千人でできる町づくりをすすめましょう。

2040年の予想人口を見てびっくりしました。若い人たちが九重町ですっとくらしたい、外からの人が移住したいと思えるような町であってほしい。子育て世代への対応は充実していると思うので、そのような所を売りにして、もっと外部や内部にどんどん情報発信をしていくべき。現状、LINEがあまり活用されていないように感じる。たくさん登録していただいているのであれば、町の情報をもっと発信していいのではないのでしょうか。また、公園を作ってほしいです。これまでもずっと要望のある事だと思うが、なぜ実現できないのか、どうすれば実現できるかなどあれば、町から提示してほしい。

若い人が安心して定住できるまちづくりをしていただきたいと思います。

九重町の将来をネガティブに考えるのではなく、もっとどう活かしたら良いか考えるべきでは。

心配なこと、不安なことが的確に提起されていて分かりやすかったです。大変ですね。田舎であっても魅力的な九重町であってほしいです。住みやすさ、暮らしやすさは、人によって優先順位が変わってくるでしょうが、「今、現在」の九重町は、私にとっては、とても住みやすい町です。ありがたいです。できれば、全町をカバーできるW i f i があるとうれしいです。

お互いが助け合い、信頼できる仲間でありたい。夢ですが、九重町内で自給自足できる地域。農業への希望、安心安全な農業のあり方を検討してもらいたい。

高齢化・後継者不足により、従来からの農地、林地、原野が未利用のまま広く存在することになる。前記の空き家をはじめ、土地も提供し活性化させ人口を増やすことが急務。（子どもが増えている）豊後高田や竹田など見習い、外にP R しこれらを誘致する人材を多く置くことを望む。畜産・椎茸・トマト・花など、やる気のある人を募集できれば、いくらでも土地はあると思う。由布院みたいな観光・人・温泉・宿・農業、それぞれのグループの連携、組織が活発であることも検討して欲しい。

人口が減ることでのどの業務も人手が不足していく中で、I T などを用いて生活のインフラを整えていく必要があると考える。子ども達には、学校で教えてくれる先生がもっといたらいいと思うので、オンラインで都会の学校とつながり、より様々な知識を身につけられるようなシステムを考える。外から、移住を考えている人は、仕事がなければ移住はむずかしい。

この先、介護が必要な老人が増え、それを支える若い人が減っていくので、やはり心配です。九重町での雇用をもっと増やすべきです。九重町での働き場がないので、都会の方へ行くのだと思います。

働ける場所がなければ、人口減少になってしまうと思います。（若い人が定住できない）

何か抜本的な発想の転換が必要だと思う。例えば、学校跡地、校舎に居住スペース、コンビニのような商店、理容院、美容院、診療所等を作り、高齢者が安心して住める施設とする。（4地区に）
家族の在り方や地域の在り方が、大きく変わった現代において個で生きていける町にすることを考えるべきでは？と思う。正直将来は明るくない…。多発する災害の心配。

人口減少の問題は当町だけではないと考えますが、まず働く場所がないから町外や県外に出ていく。そのまま帰省せずになる。

若者は、結婚についての考えが定まっていない気がする。

両親がいるときに結婚するような考えを持っていない感がある。婚活と言っても本人次第だ。

私は現在、80代後半です。終戦後の生活は大変なものでした。生活レベルは今では考えられないくらいお粗末でしたが、今ではあらゆるものが充実しています。戦後は人口も増えて貧乏でも人々は元気でした。勢いがありました。その当時と現在は比較にならないが、何かが在る様に思います。

町の施政方針に向かって実行し、又、執行部三役の政治思案を発揮し課長職員が一体となって、行政活動を施すことが町民のためになる。

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040 年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）

人口減少は、「課題」ではありますが、「困りごと・困らせごと」なのでしょうか？「減少」は「自然の流れ」ともいえるかもしれません。 1町だけでの対応だけではなく、隣接する町（県をこえてでも）とも柔軟に対応できるシステム人材の〇〇等考えても良いのかとも思います。
こうして具体的に問いかけ、ふと自分に（町民）が気付き、考えられる時間、普段は私自身あまり考え思ったことが少なかったが、このような内容見て考える時間を頂き、ありがとうございました。 数年ごとにこのような催し（アンケート）を行うと、少しずつでも前が見えてくると思います。
現状維持では、加速度的な人口減少は免れず、そのことによる超財政の悪化、行政サービスの低下、ひいては職員の質の低下等々、低下スパイラルに陥ります。今の内から、町内にある地域資源を掘り起こし、町と住民が一体となって自分たちで出来ることを創意工夫する習慣づけの努力が問われているのだと思います。 私個人的には、町内にある廃校となった学校等の建物の耐震強化や内装を施し、高齢になっても安心して暮らせる価格帯の集合住宅があるといいと思います。建物内で住民同士の集会スペースもとりやすいし、運動場は健康保持の活動の場にもなります。あらゆる可能性があります。 また、この場で申し上げるべきではないのか主しれませんが、九重町の主要産業という割には農業委員会が形骸化している感があり、中には農業将来像を視野に入れた活動や意見展開を全く無視し、農地管理ばかり固執して、農地を生かすための各種勉強不足も甚だしい、弊害というべき委員さんを見かけます。改善ができないのなら、定年制を設けてはいかがですか。
九重町の将来像としては、まず税収を上げること。税収を上げるには、観光に力を入れると思われませんが？1つ目は、震動の滝にエレベータを作成し、滝壺までの遊歩道を設ける。滝壺には、温泉も湧いています。また、岸壁には、鍾乳洞もあります。2つ目は、JAと住民が出資を行い、軽井沢のような町づくりをする。道の駅等も含む。3つ目は、ジェンダーギャップの解消です。第一に、給料を女性も男性も同様にすることが望まれる。観光に特化すれば、九重町は安泰と思われます。
九重町は大自然が残っているのが宝です。この宝をどう生かすのか、人が住みたくなる町とはどんな町なのか研究する必要があります。極端なことを言えば人々が多くなくても観光でどのくらい人を呼べるか？山・河川を整備する。いつも花がある。それも一つ。又飯田コース、宝泉寺コース、東飯田コースその地区が一番美しい時、バスを出す。又、神楽、祇園、各地区のお祭りなど、いかに組み合わせるか、宝八幡には神楽殿が出来ています。自然と文化を組み合わせ観光コースを作るのもよいと思います。
抽象的ですが、自分の生まれた町に誇りを持つこと。2040年問題、読みましたが非常に厳しく難しい問題。
少しでも人口を増やす（今より減少させない）策をしっかりと考える。例えば、移住者が増えるように空家や住宅設備を整えるとか、外国人労働者の雇用を進めるとか、最新地熱開発企業等誘致を進め、新たな雇用の場を増やすなど取り組むと良いのではと思う。
若者の仕事の確保＝町の活性化だと思うけれど、なかなか難しいことだと思う。私の家も息子は県外企業に就職（26歳）将来、帰ってくるかもわからない。自分は人の手を取らず、元気な高齢者になりたいと願っている。
現行九重町の2040年に想定される全国の町村が抱えている問題を調査とどのように対処しているか（現在6000人～7000人規模）
年をとっても、独り暮らしになっても、地域の支えあいがあり、声をかけたりかけられたりしながら、健康で長生きしたい 九重町に住んで幸せだと思える町づくりを 若者が定住したくなる、人とのつながりがある町に。
町民が力を合わせて町を守り、九重町を続けていけるような将来を。そのためにも、子どもたちに町を好きで戻りたい町にしてほしい。就職する場所を確保してほしい。

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040 年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）

今回のアンケートでは、全ての項目が心配され、全てに○をつけたいところです。現在5,000～6,000人位の人口の町村があれば、参考にして今後の計画を本気で考え、人口減に歯止めをかけてほしい。 今後、地区の要望等、先を見据えて切るべき時はスパッと切ってほしい。将来を見据えた厳しい決断も必要ではないか？
元気なお年寄りにみんながなれるような体制づくりと、コミュニティを充実させお互いが支えあえる町になってほしい。 空き家はほったらかしていると、どんどん住めなくなっていく、少しずつ手を入れながら、若い方に住んでもらえるよう、どんどん宣伝してほしい。若い方の目を引くリノベーションをする。
生活のしやすい町、明るい町、災害のない町等健康で住みよい町 町づくりについても各地区任せでも良いが、四地区が一つでも統一した方向性を持った取り組みがしてほしい。
人口が減ることによって、色々な問題が起こってくると思いますが、九重町に住む全員が幸せに暮らせる町づくりを目指し、少数精鋭を基本に色々な問題に積極的に取り組み参加することによって、諸問題に向かい合い解決していくことが大切ではないかと思っています。出来る人が出来ることを持続していく事が大事だと思います。子どもから高齢者までが一丸となって頑張っていきたいですね。
若い世代が自信をもって「九重町が好き」と言えるそんな町。
小さくてもここで暮らしている人達が元気で明るく、前を向いて田舎ならではのものを作り出して、外へ向けて発信していつてくれていることを願います。そのために、今の私達が出来ることは、可能な限りやりたいと思っています。情報発信すればどこからでも問い合わせなど出来る時代。魅力ある何かを作りましょう。
問題、課題が山積みで大変だと思った。九重町全体として考えていかなければと思う。 企業の誘致、農業学校の九重町版を作る等々。
2040年予測よりも、ゆるやかな人口減少になるような策と合わせて備える必要がある
できれば、各地区で栄えていけるのが理想ではあるが、現実問題として町全体をコンパクトにまとめていくのが費用対効果が大きいと思われる。
現在の町内在住者の為にもあらためて、九重の魅力を感じてもらう。
住民が大好きな町、魅力ある町と断言できる町 人口問題→他県、外国の人に魅力発信、たくさんの人に知ってもらえる九重町 人材不足→補助、基本給の底上げ（介護とか人が嫌な仕事）
もちろん人口もですが、この町らしいこの町にしかできない、味わえない、そんな九重町であってほしいと思いました。
災害に強い町づくりを目指してはどうか。「避難所は全国一快適です」といったように。
これから温暖化で平地の気温は高くなる。特に夏は35℃～40℃となることが予想される。冬の寒さも昔ほどではないので、涼しさを売りにして空き家をリフォームして売り出すといった施策はどうか。
日本では東京、九州では福岡、大分では大分市と人口集中はこれからも続くと思われる。それは働く場所があり、便利であり、病院など安心があるからだと思う。いっぺんにはできないであろうが、九重町としてどこに取り組むのか、いつまでにやるのかを明確にすべきでは。
20年後は車が空を飛ぶ時代かもしれない。それに備える町にしては。
吊橋から震動滝つぼへ下りる計画を町が立案し、町民に意見を聞いてみてはどうか。滝つぼには原生林、貴重なコケ群、龍神岩、湧き出る温泉等「宝」がたくさんある。それを多くの人に見てもらう。当然お金はいただく。ぜひ検討を。
企業誘致も難しい。観光、農業も先行き不明。本気で町のことを考えてくれる20代～40代の町民を募り（20名ほど）報酬（ある程度高額でもよい）を出し、面接等で本気度をたしかめる。そこでこれからの九重町をどうするのかを提言してもらう。そして行政はそれを実行する。それくらいの覚悟をもってやってほしい。

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）
大学の農学部を誘致するのはどうか。学生が住み、店、アパート等が増える
空き家や学校跡地の有効利用を考えるべきでは。学校は地域の中心にあり、そこに店や診療所を集めて高齢者が利用しやすくすべきでは。
玖珠町との合併を考える時が近づいている。ここ5年で町が一気に沈んでしまった気がする。
学校跡地の利用を考えるべき。国東は企業が利活用するようだが、国東には空港がある。九重町は住民が利用しやすいように考えるべきでは。
飯田高原はもはや高原といえなくなっている。久住高原のほうが広大で雄大。野焼きをしなくなったり別荘地になったりでそうってしまった。これでは良さがなくなったと同じ。
将来、結婚や出産をした時、子どもを育てやすい九重町であってほしいと思います。
小学校の給食を各家庭にも提供できる工夫をする。4つの町（東飯田、野上、南山田、飯田）をコンパクトシティと位置づけ、医療、福祉、商業施設、学校を集積する。
生きやすい暮らしやすい平和な町であってほしいですね。いつもお疲れ様です。
生涯現役、徳島県上勝町のように、いくつになってもやりがいを持って取り組める環境があれば、町全体が活性化されるのでは。
10人でしていた事を6人でする事になるという事は負担が多くなるという事。フォロー出来る策を本気で考えてください。
人口が増えていく将来を希望します。その為には九重町を選ぶ理由を、言いかえれば、その町に住みたくなり、子どもを育てたくなる理由が要と思う。全てを公に頼るのではなく、町民も民間企業もある程度の負担や努力をしていかないと、誰かがやってくれるだろうでは限界町村からはまぬがれないのでは？難しければ、町村合併もいたしかたないと思うが、いずれ同じ問題が浮上してくる気がします。子を産み育て次の世代に繋げていくという人の存在意義を考える時かもしれません。人も動植物と同じく地域の上で子孫をつなげていくという考え方です。
子どもから高齢者までが助け合って支え合える様な町にしてほしい。
自分が生まれた町なので存続していつてもらいたい。
農業でも生活が成り立つような、九重町産の無農薬等の付加価値のある農作物をブランド化させ（酒など）若者に農業意欲を持ってもらいたい。人にも自然環境にもやさしい九重町であってほしい。
子どもたちにもずっと九重町で生活でしていける町になってほしいです。
今の人口が減っていくのかと考えると子育て支援・教育の面にもっと力をそそいでもいいのではと考えた。他県の人に移住したくなる町づくりをしていただきたいと考えた。また、九重町で育った人が外に出ていってもまた戻ってきて貢献したい、また戻ってきたいと思われる町づくりをすることも必要なのかと考えた。温泉があるという強み+で観光または商業施設があったら嬉しいです。買い物に行くにも病院に行くにも足の弱い高齢者の方は大変であるし、バス・電車も1時間に1本という少なさもこれから見直していただけたらありがたいです。SNSなどでもっと九重町のよさを広げてほしいです。
子育て・介護の問題で苦労せず、各機関の利用がスムーズに出来る町。
このアンケートで2040年問題のことを知り深刻なことに驚きました。
今のところ元気なうちは20年後を想像することは出来ませんでした。ただ、介護が必要な親世代を見ていると、出来るだけ健康なまま年を取りたいと願っていました。今回、人口の減少が色んなことに影響するんだと考えさせられました。今後は地域活動にできるだけ参加して、助け合いができる人材になっていきたいと思う良い機会となりました。
このままでは人口減少は避けられないと思います。①働く場所がないと九重町を出て行くしかないので、若い人が働ける場所を確保してほしい。流出を抑えられたら減少のスピードは抑えられる。②今はパソコンがあれば仕事ができるので、自然を売りに大々的にPRすべき。都会から人を集める。（定住）

九重町将来像アンケート 結果

【質問3】「2040年問題」をご覧ください、九重町の将来像（どのような九重町であってほしいか）について、どのように思われましたか？（自由意見）

また合併の話がいずれ出てくるのではないだろうか。前に市町村合併をしていたらどのような状況になっていた（いる）だろうかと思う。

若者が住める町にしてほしいと感じた。空き家は増え、住居はあっても、アパートのように容易に入居・退居ができるイメージがない。九重出身でも実家に帰る考えがない人もいるし、アパートが多いと良いと思う。同年代でも町内に住む場所がなく、町外に住むのがほとんどである。住む場所・公園・子育てしやすい環境が多くないと2040年問題に一直線かと思う。

九重町も観光だけではやっていけない。働く場所がないから若者は出て行くしかない。先日、どこかのTV局で県内の気になる場所（のようなタイトル）で玖珠～竹田方面でのランキング1位、2位がくじゅう（竹田市）で3位が玖珠町の慈恩の滝で九重は入っていませんでした。魅力ある新しいものを作っていないと町外・県外の人が九重町に興味を持たないし訪れないのでは。

2040年にもなるとこんなにも変わるものだとあらためて資料を見てゾッとしました。自分をあてはめると60代前半・・・。それでもまだ若い人材の領域。将来像としては1番に住みやすい町であってほしいと思う。

病気になっても健康であっても食べていかなければならないので、農業に力を入れていく方向が良いと思う。

少子高齢化を食い止めるために、今のうちから若い世代を九重町に取り込むことが大切であると考えているが、現在は九重町に住みたいと思っていてもアパート等の住む場所がなく、結局、隣の玖珠町に住居を構える同世代が増えている。子育て支援を手厚くしても、若い世代が九重町に住めないことは非常に残念。そのため、空き地等を利用し、積極的にアパート等を建て、まずは若い世代の取りこぼしをなくすことが急務であると思った。

満足度、幸福度といったことではダメですか？一定の生活レベルは保たれている訳ですから、あとは住んでいる人たちがどう思うかではないでしょうか？行政の力は、限界あります。

九重町の魅力は、近所の人ならだいたい顔見知りで、みんなが仲良くしてくれるところだと思います。少子高齢化の変化が目に見えやすいため、いろいろな分野での困りが出てくると思うけど、地域柄はあまり変わらないで欲しいなと思います。

2000年になった頃、2020年はずっと先の未来だと思っていましたが、あっという間でした。20年前は、20代独身。20年後は、自分の子どもたちが子育て世代で、自分はおばあちゃん世代になっているかな。九重町は、良いところがたくさんあります。20代で1度都会に出たので、改めて良さが分かったこともあります。コロナという大きな時代の波が今来ていますが、田舎で暮らして良かったとこれほど感じることはなかったです。都会の便利さはなくても、田舎の大自然、この環境はお金では買えません。九重町で子育てできて良かったと思います。自分の子どもたちも将来、九重町で育って良かった、九重町に戻って生活したいと思ってくれるような魅力的な町になるようにたくさんの課題について、真剣に考えないといけない時期だと4月号を見て感じました。

人口が減ることは間違いないと思いますがその中で希薄となっている人との結びつきが強くなるような取組が大切だと思っています。町民として出来る事をやって幸せな暮らしとなるように私も考えたいと思います。正直、ここまで人口が減るとは思っていませんでしたが、危機感をもっていかないとダメだと感じました。

このアンケート用紙をいただくまでは2040年問題など考えたことがありませんでした。しかし、そう遠くない将来にこんな問題や課題があるのだと分かり、今から自分が出来る事を見つけ、些細なことでもお役に立てればと思いました。

田舎づくりといってもきちんと浸透していない。それより、空き家や使用していない土地を利用して住宅施策を展開して、まずは人口減少に歯止めをかけ、その後に子育てや教育部門の施策を打った方が良い。

子どもから高齢者すべての町民が元気に安心して暮らせる町であって欲しい。

九重町でも少子高齢化は、深刻な問題となっており、医療・介護サービスや施設が不足する可能性があるのではないかと考える。このような問題を解決するためには、健康寿命を伸ばす予防的な取組や介護が必要な状況になっても住み慣れた地維持や自宅で過ごせるような支援が必要である。そのためには、自治会やボランティアグループなど地域の力が大切である。地域全体で高齢者を支え、最後まで健康で健やかに過ごせる九重町であって欲しい。